

第 1 3 回 鈴鹿病態薬学研究会

◆ 日時：平成30年3月12日（月）15時より

◆ 会場：鈴鹿医療科学大学薬学部（白子キャンパス）1号館1303室

◆ 演題

リポタンパク質粒子 Chylomicron と Disk-HDL モデルの再構成とその機能

◆ 講師

半田 哲郎 先生（鈴鹿医療科学大学薬学部 薬学部長 特任教授）

◆ 講演概要

コレステロールとそのエステルやトリグリセリドは、細胞膜の脂質構成成分であるだけでなく、細胞間および細胞内の情報伝達に用いられている重要な分子である。一方、コレステロール代謝のホメオスタシスの破綻は、動脈硬化や全身性アミロイド繊維症などの疾患と密接に関連することが知られている。

これまで半田先生は、これらの脂質を輸送するリポタンパク粒子（Chylomicron や HDL、LDL）の形成や血漿滞留性、細胞内への取り込みについて、物理化学的な手法を用いて解析してこられました。今回は、長年この分野のフロンランナーであり続けた先生に、最近の研究状況を含め、リポタンパク粒子がどのように作られるか、また、これら粒子の構造変化がどのように細胞を動かし、生命現象にどのような影響を及ぼすかを分り易く解説していただきます。

主催：鈴鹿病態薬学研究会（代表 鈴木 宏治）

事務局（問い合わせ先）： 鈴鹿医療科学大学薬学部 医薬品開発学研究室 中山 浩伸

TEL : 059-340-0606, e-mail : nakayamh@suzuka-u.ac.jp

第13回 鈴鹿病態薬学研究会

リポタンパク質粒子ChylomicronとDisk-HDLモデル の再構成とその機能

講師： 半田 哲郎 先生

鈴鹿医療科学大学薬学部 薬学部長 特任教授

日時：平成30年3月12日(月) 15時より

会場：鈴鹿医療科学大学薬学部(白子キャンパス) 1号館 1303号室

本講演会では、生体細胞膜の重要な脂質であるコレステロールの運搬に関わるリポタンパク質について、物理化学的視点から半田先生に分り易く解説していただきます。
奮ってご参加ください。

主催： 鈴鹿病態薬学研究会(代表：鈴木 宏治)

事務局(問い合わせ先)： 鈴鹿医療科学大学薬学部 医薬品開発学研究室 中山 浩伸

TEL 059-340-0606 e-mail nakayamh@suzuka-u.ac.jp